

理事長挨拶 医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

2月に入り例年同様に、寒暖差を激しく感じております。数日前には都心部においても雪が積もりましたが、雪上時の車の運転は、何度経験しても慣れないものです。暖かい春の兆しが待ち遠しいこの頃です。

さて、今後の医療・介護業界について、人材不足の深刻化、制度改定への対応、DX・AI活用の加速に絞り、考えてみたいと思います。

人材不足の深刻化については、我々の業界のみならず、日本全国どの業界においても当てはまる状況です。当法人においては、介護職の増員を喫緊の課題と考え、特定技能外国人の採用を開始。R8.1現在、フィリピン人5名(R6.6入職)インドネシア人14名(R6.12入職)合計19名。更に来月中にインドネシア人12名を新採用する予定です。入職時から現在に至るまで、試行錯誤しながらでしたが、幸いにも離職者がいないことに感謝しております。今後は、期限内に介護福祉士の資格取得ができるかが問われます。本人のモチベーション維持が重要ですが、生活及び業務上の環境作りへの配慮も必要と思います。

制度改定への対応については、介護報酬・診療報酬の改定により、効率化・質の向上・アウトカム評価がより重視される流れと言われております。特に質の向上は、病院、介護施設を運営する中で差別化できる部分であり、ご利用者



に満足していただけるサービス提供に努めます。
DX・AI活用の加速については、人材不足を補うため、業務効率化・自動化のニーズが高まります。直近で当法人の有料老人ホームに、離床センサー式の介護ベッドを導入。現場の負担軽減に繋がることを期待しております。

- ・人材不足→DX・AIで補完
- ・DXへの対応が制度改定にも繋げられる
- ・制度改定上の効率化→DXの必須化

このように、「人材不足 × 制度改定 × DX」は、それぞれが強く連動し、業界の方向性を示すという見方もできます。法人としては積極的に取り組み、今後も地域に根差した運営を心掛けて参ります。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・千葉芙蓉病院
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム



2025 年 12 月院内研修 「身近な火災危険を防ぐ」

発行者：防火担当 松倉

内容：今回の研修は、電源プラグ・コード、コンセントや最近出火元として耳にすることが多いリチウムイオン電池等、身近なところに火事の原因となるものがあり、それらを適切に使用することが必要になることを記した資料と確

認テストを実施する書面研修として実施した。火事が起きてしまった後に「知らなかった」では済まされない事案も多く取りざたされているが、特に充電池の取り扱い・廃棄方法については知っておくべきとして内容に盛り込んだ。

2026 年 1 月院内研修 「感染－BCP－研修」

発行者：感染部会

内容：今回の研修は、感染症対策として前半講義による研修と後半防護衣の着脱訓練を BCP (Business Continuity Plan = 事業継続計画) の位置付けとしても実施した。

感染を防ぐためには、手洗いと防護衣の着用が有効であるが、防護衣については常日頃から使用しているものではないため、必要になった時についつい要点を忘れがちになってしまうことから、当法人では年 1 回を目安に全職員を対象に着脱訓練を実施しています。



2026 年 1 月 「業務改善～コミュニケーション～研修」

発行者：(株)インソース 藤内講師

内容：この研修は、法人をあげて取り組む業務改善のために実施しました。

ICT 化や DX が必須になってくる中、当法人でも電子カルテの導入や紙媒体の削減に取り組んでおりますが、組織を動かす根本は“人”であり、ツールが進化してもそれを使いこなせない人ばかりになっては元も子もありません。仲間通しがお互いの良さを持ち寄って助け合い、教え合ってチームとして力を付けて行くことも業務改善の観点から重要と捉え、コミュニケーションもツールであり技術でもあることを学んでいただく良い研修となりました。



2026年1月「個人情報保護研修：個人情報とプライバシーについて」

発行者：総務課

内容：今回の研修では、個人情報保護に関する理解を深めることを目的に、個人情報とプライバシーの違い、ならびに個人情報・プライバシーを適切に保護するために、日常業務の中で注意すべきポイントについて学びました。

研修後のチェックシートでは、業務の中で何気なく行っている行為が、個人情報やプライバシーの侵害につながる可能性があることに気づき、今後の業務の在り方を見直す良い機会となりました。

当院では、患者様が安全・安心して療養いただける環境を提供できるよう、今後も細部にまで配慮した業務に努めてまいります。

